



Disaster prevention Expert News

東北地方 防災エキスパートだより

2004.7
vol.2

発行:平成16年7月26日

東北地方防災エキスパート事務局 TEL.022-268-4454((社)東北建設協会内)

一般国道112号 法面亀裂に伴う交通止めの防災エキスパート活動状況報告

防災エキスパート 山形A(庄内) 穂積 薫

防災エキスパート要請までの経緯(酒田河川国道事務所)

- 平成16年4月13日、一般国道112号に隣接する朝日村道「中台線」(湯殿山スキー場入口)で地滑りを確認。
- 地滑り発生後、観測、大型土のう設置による簡易な対処を行う。(地滑りの大きさは幅約100m高さ約30m程度)
- 5月15日の現地調査において、亀裂が拡大進行している状況が確認されたことを踏まえ、今後降雨により一般国道112号に土砂が流出する恐れがあると判断し、酒田河川国道事務所は、災害対策本部を設置、5月16日午前0時から湯殿山神社入口～湯殿山IC間10.3kmを全面通行止めすることとした。
- 交通止めに伴う現地での広報及び交通誘導は、24時間体制で国交省職員で対応して来たが、少人数と疲れも現れ、5月18日午前10時頃酒田河川国道事務所から電話で、防災エキスパート会員の出勤要請を受けた。



山形河川国道事務所ホームページより

要請内容 5月19日(水)午前8時～16時…7名 5月21日(金)午前8時～16時…7名
現地での広報と交通誘導、及び月山国道維持出張所での連絡要員。

防災エキスパートの対応

- 5月18日要請を受け、防災エキスパート会員に連絡出勤要請するが、19日～21日は、庄内三大祭の一つ「酒田祭」と重なり、参集出来る人が少なかった。
- とりあえず、5月19日分7名確保し、20日は4名確保し、事務所へ連絡する。
- 5月19日午前7時30分月山国道維持出張所へ7名参集、岡部出張所長から経過説明を受け、それぞれの部署に配置し、午後4時まで現地で対応した。
- 5月19日事務所から20日4名を2名に減、21日2名増で対応してほしい旨要請変更があり再配置を検討、エキスパートに連絡し、要請に答えることとした。
- 5月20日…2名 5月21日…2名 出勤



現地にて広報及び交通誘導

その後の状況

- 地滑り箇所では、応急対策として、押え盛土を実施し、地滑り移動量は少なくなり最悪の事態は免れ、5月22日(土)午前5時から終日片側交互通行に移行した。
- 6月2日(水)午後2時規制解除を行い、2車線での双方向通行が可能となった。
- 現在も地滑り監視、観測は続行中である。

苦労した事

- 前記にも述べたとおり、出勤要請日が酒田祭り(5月19日～21日)の前日とあって防災エキスパートの確保が大変であった。

「防災エキスパート シンボルマークシール」を活用ください



防災エキスパート事務局では、防災エキスパートの活動をより一層充実させていただき、広く一般にもPRできるよう「防災エキスパート シンボルマークシール」を作成しました。(社)東北建設協会本所、各支所、事業所の窓口にありますので是非、ご活用下さい。カラーは2種類でお好みに合わせて使用できます。



防災エキスパート活動に参加して

(株)丸高・柿崎 満

平成16年4月13日雪解け水が影響したと思われる地すべりの兆候が月山国道112号に平行する朝日村村道湯殿山スキー場入口付近に発生し、国道にあたる影響が心配されていた。

その後亀裂が拡大し土砂の流出が危惧されることから国道を管理する酒田河川国道事務所は5月15日災害対策本部を設置しその動向を注視していたものの、その後降り続く雨も影響してか亀裂・地すべりの拡大傾向



現地にて広報及び交通誘導

を示し、最悪の事態も想定されることから、5月16日午前0時から月山国道112号を全面通行止めを実施するという事態となった。応急対策として実施した押え盛土により滑りが漸く落ち着きを示しはじめた5月19日から庄内地区在住の防災エキスパートに出動要請があり、私自身も初めての経験ではありましたが5月21日現地に出動した。

エキスパート業務の内容は、「全面通行止め規制」の支援であり、24時間終日全面通行止め実施という体制の中で、関係する職員間の時間調整的役割として朝8時から夕方4時までの日中における規制支援で、既にマスコミ等の情報で周知されており、実質的に通行車もほとんど無い中での活動ではありましたが、道路管理者としての管理責任の一面からはこのような状態のなかでも万全の対応を執る必要がある事を改めて知り防災エキスパートの役割の本質的業務の一端を実感した。

月山国道112号は山形県の内陸と庄内を最短で結ぶ重要路線であるばかりでなく、高速道山形道の西川～朝日IC間の併用区間でもあり、その機能マヒは社会経済的影響は重大であり一日も早い復旧が望まれるなか、5月22日から片側交互通行、6月2日に全面通行可能となった。この間の関係者のご労苦に敬意を表すと共に、庄内に住む者として改めて月山国道の重要性を認識した次第です。



応急対策(押え盛土)

編集後記

～“雲の峰 いくつ崩れて 月の山”～ 芭蕉

原稿を読んで、ふとこの句を思い出しました。

・酒田祭にかかわらず月山国道に出動されました11名の方々には、大変ご苦労様でした。また、貴重な体験文を書いていただいた柿崎さんありがとうございました。

・本格的出水期になりましたが、最近、集中豪雨が多発する傾向にあります。異常気象によるものでしょうか、気になります。

・皆様から「防災エキスパートだより」にご意見や投稿をお願いします。

(央戸 記)